

令和2年度 琴浦町事業レビュー実施結果

1. 実施日

(1) 1日目 令和2年11月14日(土) 9:00~17:00

対象事業 No.1~No.5 (5事業) 町民評価員:17名

(2) 2日目 令和2年11月21日(土) 9:00~12:00

対象事業 No.6~No.7 (2事業) 町民評価員:18名

2. 評価基準 (評価の例)

評価	評価の理由 (例)
①不要・凍結	<ul style="list-style-type: none"> ○税金を使う必要なし (事業の廃止) ○事業廃止を含めてゼロベースで見直す (事業の一時凍結) ○事業の目的が既に達成されているため不要 ○事業や補助金の予算を執行することが目的となっているため不要 (手段が目的化していると思われる) ○事業の効果なし (薄い)・逆効果 ○サービス受給者の自助努力・自己負担 ○行政の役割終了、民間実施 (税投入の必要なし)、他事業との重複など
②国・県・広域で実施	<ul style="list-style-type: none"> ○事業規模が1町だけで行う規模でない (国・県・広域でのサービスである方が良い) ○規模が広域なため、広域での一律のサービスである方が良いなど
③要改善	<ul style="list-style-type: none"> ○実態を把握する必要がある ○効果が不透明 ○成果の捉え方を再検討する必要がある ○事業の手法を大きく見直す必要がある ○民間委託の実施・拡大をする方が良い (指定管理者制度を導入)など
④拡充・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○事業目的に対して取組みが不十分 ○事業の目的が町の最優先すべき課題に対するもののため、より集中的に取り組む方が良い ○現行制度に加えて、新たな制度、サービスを追加する方が良いなど
⑤現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ○現状では見直しが困難 ○大幅な見直しは必要ない ○現在の手法で概ね成果が期待できる (効果がある)など

3. 評価結果

事業No	事業名	① 不要・凍結	② 広域で実施	③ 要改善	④ 拡充・充実	⑤ 現行どおり
1	コンビニ交付サービス事業	4	2	7 (4)	0	3
2	光ケーブル施設維持管理事業	2	0	10 (4)	2	2
3	ICT教育環境整備事業	2	1	10 (4)	3	1
4	子どもの遊び場環境整備事業	0	0	10 (3)	3 (1)	4
5	文化芸術振興事業	0	0	11 (3)	3 (1)	3
6	グルメ de めぐるウォーク実施委託事業	3	0	12 (3)	3 (1)	0
7	ごみ処理事業	0	2	11 (4)	2	3

4. 参考 (事前研修会での模擬レビュー 2020.10.25)

事業No	事業名	① 不要・凍結	② 広域で実施	③ 要改善	④ 拡充・充実	⑤ 現行どおり
1	まちの保健室事業	0	0	17 (3)	3	1

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

1日目(2020.11.14)

(事業番号1) コンビニ交付サービス事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	4	<u>役場の時間外、休日対応で対応</u> ／本籍地が琴浦町でない場合、取得できないものもある／マイナンバーを持っていないので、別に無くても良いサービス／マイナンバーカードを持つことに対する不安がある／ <u>サービスのコストが高い</u> ／住民が求めているサービスと方向が違う／国が「～ができる」という言葉にのって先行してする必要は無い
②国・県・広域で実施	2	琴浦町が全国のモデルになるべき／全国の自治体に参加しなければ効果が無い(本籍地が他の自治体の場合、謄本が取れない)／コストが高いためマイナンバーカードを持たない人は不公平感がある
③要改善	7 (4)	<u>役場の窓口の時間延長、休日対応をまずしてからの事業</u> ／コンビニ交付の件数が少ないので費用と効果に疑問／行政手続きの添付資料を前提としたサービスで将来的には、添付が不要となるため不要となるサービスではないか／廃止したときのデメリットは限定的と思われる／マイナンバーカードを持たない人が不利益を被る(カードを持たない権利もある)／将来的には、このサービスがとても利便性の高い生活につながるので、マイナンバーカードが普及するまでサービスを中止／県内で琴浦町はこの取組みは進んでいるのでさらに充実させるべき／システム業者との契約内容の見直し、精査が必要／ <u>サービス、利便性の周知が不足している</u> ／ 【審議員の意見】 制度設計を全ての住民が利益を得られるように、一度立ち止まって抜本的に見直してはどうか／町民ニーズの把握(使った人、使わない人)／システム更新の今後5年間の増減、利便性とコストの比較が必要／サービスを中止し、土日・夜間開庁で対応、郵送、メール予約、電話相談など視野を広げた試算し、町の負担を長期的に減らす方法をゼロから検討／「人だと対応に手間がかかる」、「一度始めてしまったから」という思い込みで、検討がされないことのないように／国の制度ではなく、まちで何ができるか考えて欲しい／証明書を紙で出す必要がなくなる社会になるかもしれない。
④拡充・充実	0	
⑤現行どおり	3	町外で勤めているのでとてもメリットがある／必要とする人には良い制度

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

1 日目 (2020.11.14)

(事業番号 2) 光ケーブル施設維持管理事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	2	ケーブルテレビに加入しているが実際見ていない／コストが大きすぎる／税金を投入する必要性を感じない／他に情報を得る方法は老若男女ある
②国・県・広域で実施	0	
③要改善	10 (4)	<p>インターネットサービス利用者が少ないのもっと利用したいと思えるような改善が必要／<u>維持管理費、更新費用の削減が必要</u>／アンケート調査などでケーブルテレビの必要性を把握する必要がある／<u>現状分析が不十分(テレビ、インターネットなどの住民のニーズがあるのか)</u>／<u>光通信(ネット)は、民間(NTT)のインフラを利用することで維持費用が軽減できないか</u>／TCC を利用していないが、特に不便、不満はない(積極的に加入する動機を感じない)／ケーブルの管理と放送番組を分けて考える必要がある／住民への情報提供は光ケーブルを使わなくてもできるのでは／<u>この事業は TCC の経営課題と切り離せない問題</u>(TCC と行政の連携がとれていない。民間である日本海ケーブルネットワーク、中海テレビ放送の運営方法を参考)／インターネット使用料の見直し／広報方法の充実／</p> <p>【審議員の意見】 TCC が民間の良さを発揮できるよう体制と環境を整えてほしい／独自番組は放送ではなく通信(ネット)でも配信できる／独自番組は重要／通信(ネット)も光ケーブルではなく 5G で代替可能／コストをどうやったら小さく出来るのかを議論すべき (町のレベルでの予算額ではない) /TCC(第三セクター)の民間経営／</p>
④拡充・充実	2	番組制作に関して町の関与を可能な限り高めていく
⑤現行どおり	2	

※評価結果の () 書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

1日目(2020.11.14)

(事業番号3) ICT教育環境整備事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	2	説明内容の目的のためなら、ここまでの規模の事業は不要/目的とされている子供たちへの正しい情報は、この手法では得られない/機器(ハード面)の充実が先行している/人間性を高める方が良い/事業を凍結して学習を充実
②国・県・広域で実施	1	琴浦町だけでなく、国全体の問題で制度設計に問題がある(国が丸投げ)/町の予算を使うので、町が考えて行う/自治体ごとにばらつきが生じる/道具をどう使うのかを考える/行政側、学校現場側の役割を明確化し連携が必要
③要改善	10 (4)	<u>タブレットを導入や使うことが目的にならないようにする必要がある(タブレットなどは教育のための道具)</u> /これからよりインターネットなどを使う力が必要になってくる/目標の達成状況を確認する方法を明確にする/国主導で始められた事業で、現場の準備が整っていないように思われる/事業の効果が不透明/ <u>整備した環境(タブレットなど)をどのように活かして意義のあるものにしていくのが課題</u> で、内容を充実して進めていく事業(<u>タブレットなどの活用による最終的な目標設定が必要</u>)/教育に関係する人的な不足をタブレット導入でごまかしているように感じる/効果が不透明/ 【審議員の意見】 端末などのハード整備が目的化しないよう、一度立ち止まって考え方を共有して欲しい/教員のリテラシーと定量的な評価継続が必要/個人情報保護とセキュリティは早急な対応が必要/町としてゴール、ステップなどの全体の戦略、全体像の検討が不十分/
④拡充・充実	3	<u>教員の能力アップが必要</u> / <u>タブレットなどの活用による目標設定が必要</u> /国主導でスタートしたばかりなので具体的なステップを描くのは難しいと思うが、走りながらも目標、課題を明確にして内容を充実させるよう進めて欲しい/「問題を解決する力」、「手で漢字を書く力」などを主な目的として、ICTはあくまでも人間の補助として子供たちへの教育を行って欲しい/
⑤現行どおり	1	現状では見直しが困難

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

1日目(2020.11.14)

(事業番号4) 子どもの遊び場環境整備事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	0	
②国・県・広域で実施	0	
③要改善	10 (3)	<p><u>どの世代が利用しているのか、ニーズなどの調査が必要(現状の把握)</u>／子どもから高齢者まで幅広く使える公園になってほしい／公園マップをコンビニや飲食店に置いて欲しい／<u>遊具のない公園があることには賛成(全ての公園に遊具が必要か?)</u>／文化センターは、被差別部落の方が利用する施設に思われているので残念／<u>公園の活用方法について町民に聞いて欲しい</u>(公園以外にも新しい活用の場として使う)／大学や地域住民との連携で新たな公園の環境づくりができないか／住民が作って行く公園を目指してはどうか／<u>公園管理を一元化</u>(複数の課でバラバラではなく、一課が管理)／町が管理すべき公園を整理する／遊具であれば保育園や小学校をもっと開放して自由に使えないか／室内で遊べる場所が欲しいとの要望に対しては、体育館などにもっと目を向けるべき／全て町内でコストをかけて作るだけでなく町外の施設を利用することにも目を向ける／遊具は2箇所(ポート赤碕、どんぐりひろば)でよい</p> <p>【審議員の意見】 公園のあり方を地域の人たちで話し合う仕組みが必要ではないか／場合によっては、地域の人たちの手作り公園も可／<u>公園管理の担当課を一つとする</u>／公園を通したまちづくりの視点も良いかも知れない／利用の実態を把握することが必要(現状の把握)／いろいろな住民と方向性を考える／</p>
④拡充・充実	3 (1)	<p>撤去ありきではない事業を／<u>公園づくりを通してまちづくり、まちおこしになる可能性</u>(外部から遊びに来る公園、観光資源、地域の人々の手で遊び場を整備)／地域の需要に応じた公園を作る。その上で楽しめる遊び場づくり／<u>公園管理を一元化</u>(複数の課でバラバラではなく、一課が管理)</p> <p>【審議員の意見】 撤去のみではない事業が必要／利用調査が必要(現状把握)／住民参画のしくみづくり／複数課ではなく一課で管理する</p>
⑤現行どおり	4	<p>今後も事故が起きないよう施設内の安全を保つ／未来の公園のあり方について別事業として案の募集と立案を／孫の子守をするのに公園は、たいへん助かっている／</p>

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

1 日目 (2020.11.14)

(事業番号 5) 文化芸術振興事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	0	
②国・県・広域で実施	0	
③要改善	1 1 (3)	<p>文化、芸術を楽しむことは、他者とのコミュニケーションを楽しむなど広く良いことだと思ってお金（補助金など）の出し方をもっと考えて欲しい /文化祭のパネル設置について、委託としているが職員が行う場合とどちらがコスバが良いか/<u>補助金の利用について周知方法をもっと検討して欲しい(SNS など情報発信の強化、町民に興味を持ってもらう工夫)</u>/<u>補助金の交付決定などのルールの明確化</u>(補助金申請の上手な人だけが得するような仕組みとならないように)/興味・関心を促す取組みが必要/<u>アンケート調査により町民のニーズや意見を聴く必要がある</u>/活動団体への聴き取りなどの実態把握が必要/河本家住宅、塩谷定好写真館、古民家を利用したコンサートができて情報発信されれば行ってみたい/対象が全町民であるが、補助金は一部団体に交付されているので関連事業と併せて見直しが必要/事業費の見直しが必要(町の負担)/<u>補助金が少ないのではないか(文化芸術に触れる機会、入り口を拡げる)</u>/町が文化・芸術に対して町民に対して未来の子供たちへどうしたいのか/</p> <p>【審議員の意見】 最終目標の整理が必要/町民の意識調査が必要/「文化活動事業」と「文化芸術振興事業」は事業を統一して取組み/補助金やイベントの周知はホームページ、放送以外の方法も必要（SNS等の活用も）/補助決定のルールを明確にする/一方的な実施ではなく住民が楽しめるものであって欲しい/住民が生活している中でアートが生まれ、アートが活きている環境が作れると行政としては成功だと思う/補助金の一本化/町としてのゴール、目的の見直し/補助金をもっと広く利用してもらえるものに（補助金の利用者が固定化している）</p>
④拡充・充実	3 (1)	<p>補助対象を広げ、広報し、入門の入り口を拡げる/「文化芸術活動」が充実している状況とはどんな状態なのかビジョンが必要/文化芸術は人にとって不可欠なもの/町内企業からの寄付活動は必須、税金だけではとても足りないと思う/</p> <p>【審議員の意見】 町民から見て芸術分野の取組みが不透明となっている/補助金の応募や審査、補助決定のルールを明確化する必要がある/周辺の自治体との共同の取組みがあっても良い/</p>
⑤現行どおり	3	<p>小さい頃から芸術に触れる機会を増やした方が良い/図書館に月ごとに展示物を募集してはどうか/</p>

※評価結果の（ ）書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

2日目 (2020.11.21)

(事業番号6) グルメ de めぐるウォーク実施委託事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	3	年間の観光客が減少しており観光事業としては効果がない(一度やめて一から始めた方が良い、健康事業だと思っていた)／町内参加者が少ない／委託しないと出来ないのか／グルメと健康増進を分けて考える(凍結)
②国・県・広域で実施	0	
③要改善	1 2 (3)	<p>最初の目的・目標から変えても良いのではないか(目的の見直し)／<u>委託ではなくNPOなどが主体となって行う</u>(町はその支援として補助、やり方を変える)／健康、グルメ、観光地巡りは魅力があるので続けていくための方法を見直し／イベントの周知について、周知範囲は近隣のみでよいか／趣味が優先されている／あまりにも地元過ぎて逆に参加しにくい／健康増進につながる取組みは一石二鳥でよい／他の町には無いようなものをアピールとイベント参加者は増えても観光客が増えるとは限らない／町民の健康増進につながっていない／ノウハウを持っているNPO(民間)に委託する理由は分かるが、行政が期待している成果が出ていないのではないかと／<u>観光協会との関係、成果が見えない</u>／目的が増えており、中身が薄くなっているのではないかと／<u>前提として特定のNPOが委託先をとっているが、競争により良い方法(アイデア)でできる可能性を増やした方が良い</u>／事業自体は、参加者の満足度も高く、内容的にも良いと思うので続けていただきたい／グルメ出店事業者が少ないので、事業者主体で行う方向性を検討した方が良い／町の商工会等も参画をしてはどうか／何年もやって効果が見えないので予算の無駄だと思う、利益が法人に流れているのでは／何か別のサービスを付加するなどのアイデアが必要／グルメ品だけでなく町の特産品も活用しては／赤字が発生した場合は、町とNPOのどちらの負担なのか責任の所在はどこにあるのか／<u>成果指標と成果の把握が必要</u>(参加店舗へのイベントの具体的な成果(数値)を把握していない。当初の目的の達成状況を含めて評価されないまま続けているように見える。町のPR、観光客の増などの目的に対してそれを測る方法を持っていないければ、その成果を評価できない)／県外からわざわざ来る魅力のあるイベントにする(より琴浦でしかできない魅力のあるウォーキングのルート)／支出の金額、用途に疑問がある／NPO法人との関係の整理が必要(お金の問題)／一度仕切り直しをした方が良い／どの地域、年齢層の方が来られているのか把握ができていないのではないかと(<u>現状把握とターゲット設定が必要</u>)／合併後の旧赤碕、旧東伯のお互いを知る目的のイベントだったが、そろそろ町外、県外へのPRに目的をシフトすべき</p> <p>【審議員の意見】 <u>委託先のNPO団体が県内をつなぐ大きな理想を持って取組んでいくならNPO独自事業として位置付けた方が、将来的には良いのではないかと(町は補助金で支援)</u>／事業目的と事業内容を再整理する方が良い／目的が3つあり、それぞれ定量的な現状分析が必要／町の観光戦略とこのイベントの目的の関係を明確化する必要がある／委託であれば現在の委託先ありきではなく広く募集／</p>
④拡充・充実	3 (1)	リピーターを増やすため新企画を期待／ <u>観光客の増加につながる参加者の呼び込み方法と観光客の増加につながる仕組みづくり</u> ／
⑤現行どおり	0	

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

2日目(2020.11.21)

(事業番号7) ごみ処理事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	0	
②国・県・広域で実施	2	ごみ処理を中部広域で行っているため、高校も含めこども園や学校などのごみに対する教育(分別の重要性、処理の流れ、ごみ処理にかかわる人・働く人の様子)/ごみ処理にかかる経費の内訳を明確にする必要がある/町民の意識改革(可燃ゴミを増やさないための工夫、水筒(マイポット)の使用によるペットボトルの使用を極力減らす)/委託先への委託料や処理費用は適正か/町民への啓発を今後も引き続き行う/
③要改善	1 1 (4)	<p>ゴミの分別、削減、リサイクル率を高めることと税負担との関係を町民がやろうと思えるように示す(啓発活動が必要)/ゴミ袋値上げには反対/分別、リサイクルにも外注費がかかるので効果が少ないのでは/収集運搬を町が直営で行えば高くなるか?/ごみの現状(1人あたりが増えている原因など)を数値化して全体像を確認することが必要(現状把握)/目標達成できていない原因の調査(現状把握と成果指標の見直し)/ゴミを減量したところや家庭に対して何かしらの恩恵(インセンティブ)を与え、ゴミ減量に取り組むモチベーションを上げる仕組みはできないか/(収集場所ごとなどで)ゴミを量るしくみは導入コストと見合うか/町民に分かりやすくゴミ減量をPR(住民意識を変える方法)/住民の意識改革には教育委員会と協力(学校教育など)/分別の推進は早期に自治会での取り組みが必要であり動機付けが必要で自治会で差を作らない/委託事業者へ人件費、諸経費などの支払いが少ないので適正な金額を支払うべき(事業者がいなくなったらたいへん)/リサイクルについて2社に委託しているが1社として経費削減できないか/地元企業を優先させるべき/必要な物を買うとゴミがついてくるがゴミを付けない取り組みがあってもよい/分別処理する経費が分別しない経費よりも高くなるしくみはおかしい/海洋ゴミを拾うが、琴浦町だけでは効果は少ないから世界的に拡げないといけない(SDGsの実現)/</p> <p>【審議員の意見】 一家庭から出される平均量が増えているのはなぜか調査が必要(現状把握が必要)/ゴミ処理手数料(ゴミ袋料金)の引上げに頼らない方法でのゴミ排出量の削減が良いと思う/ゴミ分別の選択肢を増やす/1市4町のごみ処理経費の負担割合について検証が必要(人口割、実績割)/住民一人一人が課程単位で環境保全に貢献すべきことを具体的に示す/町内でのゴミの量について細分化して調査し、対応策を具体化する(現状把握が必要)/他の自治体との比較や好事例の対応策を取入れることがないか検討/ゴミを多く出すことへのペナルティ(手数料負担増)だけでなく、減量に対するインセンティブを与えることも検討/</p>
④拡充・充実	2	ごみの現状把握が必要/分別、リサイクル推進のため意識を高める啓発活動が必要(啓発活動が必要)/
⑤現行どおり	3	ゴミの減量、経費削減を目標とするならば、物を買う段階から考えて物を買わなければならない/ゴミ袋代が安く済むというのであれば、意識して取り組める/地球の環境問題、SDGs等のことを考えると分別を徹底していくことは大切/軟プラの分別をもっとしやすくして欲しい(海側にしか回収場所が無いので、山側の地域の人には出しにくい)/評価が困難

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。

事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

【参考】2020.10.25 事前研修会模擬レビュー

(事業名) まちの保健室事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	0 (0)	
②国・県・広域で実施	0 (0)	
③要改善	17 (3)	<p>取組みを行わない地区がある中、開催されている地区に地区外の者が参加しにくい(地域性で差が出る事業方式で良いのか)／<u>事業の目的は良い</u>(一定の効果はある)／<u>広報のやり方(住民への連絡)に問題がある(事業そのものが認知されていない)</u>／特定の方(<u>参加者の固定</u>)が利益を得ることになるので、幅広く利益を得る方を増やすためにも改善した方が良い／家族で参加したいと思ったが、<u>参加しやすい曜日、時間などの工夫が必要</u>／<u>他地域へ拡大する工夫が必要</u>／食生活の見直しであったり、心身の健康についての取組みは重要／受診率が横ばいなのは課題／受診者のニーズに合わせた内容にした方が良い／もっと興味を持ってもらえる内容にした方が良い／現状分析が不十分／<u>委託料は実施回数、実施内容、参加者などに応じた金額とするべき</u>／アウトリーチではなく、つながりを持たない世代に対して、自宅などでできる取組みを拡充すべき(集まらないでも個人でできる取組みも必要)／高血圧、糖尿病の中年層をターゲットにしたイベント開催が必要／検診を受けることが大切なのではなく、その結果を踏まえての必要な運動、生活習慣の改善が必要／健康意識の低い人にどうアプローチをしていくか／新規参加者はどの年代層が多いのかなどの実態把握が必要／なぜ他の地域に比べて血圧が高いかなど原因を調べ、対策が必要／地区ごとの特徴的な健康問題もそれぞれ取入れることで新しい参加者が増えるので、現行制度に加え、新たなサービスを追加する方が良い／対象は年齢に関係なく全員であるが、高齢者の参加が多くなっているため、より広い年齢層に参加してもらう必要がある／健康意識を計る指標は受診率で分かるが、健康度を計る指標に工夫が必要／<u>方向性は明確であるが、年代別のターゲットの設定が甘い(特に若年層)</u>／国民健康保険以外の保険者の現状把握も必要／<u>関連事業との棲み分け、役割分担、統合を検討すべき</u>／事業実施団体のスリム化を図る／</p>
④拡充・充実	3 (0)	<p>高齢者や40代以下の方がもっと気軽に参加できる時間帯に開催した方が良い／年代によって内容を考える／メンタルヘルスへの対応もますます充実させる必要がある</p>
⑤現行どおり	1 (0)	<p>成果と課題を整理し、検討する段階だが、良い取組みなので集中して取組んで欲しい／体躯にも拡大する戦略を立てることを期待／休眠状態となっている各部落の健康づくり推進員制度を活性化させ、各部落での健康づくり運動を全然違う形にすることも必要</p>

※評価結果の()書きは、審議員(外部有識者)の評価です。 ※評価に添えられた意見のうち下線のものは、複数の評価員よりいただいた意見です。